

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 4 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
農業高校での学びを活かした『農業が持つ科学性』『農業の知識・技術』『食の奥深さ』『命の大切さ』『農業が育む文化』の5つをテーマとしたオリジナル教材の作製と教育関連施設でのワークショップを展開し、農業への興味関心を高める教育活動を実践するとともに、持続可能な地域社会の発展に寄与する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてののねらい、特徴的な活動			
1. 農業高校での学びを活かしたオリジナルの「いきもの教材」の作製 2. オリジナルの「いきもの教材」を活用した教育関連施設でのワークショップの開催 3. 農業を通じた教育活動実践による「SDGsAction!」を意識した地域社会発展への寄与			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	雑穀「たかきび」の収穫量3Kgを目指すとともに、学校給食支援となるメニューや調理法を研究・開発する。	雑穀「たかきび」を8kg程度、収穫することができた。メニューや調理法も3つ開発できた。	在来作物である「六条大麦」の栽培に挑戦し、静岡市内での「六条大麦」の栽培地域を増やす。
	いきもの教材の作製と、それら教材を活用した教育関連施設でのワークショップを年間10回以上開催する。	いきもの教材を3つ作製した。コロナ禍による制限はあったが、ワークショップを5回以上開催できた。	いきもの教材の作製と、それら教材を活用した教育関連施設でのワークショップを年間10回以上開催する。
	農耕文化を題材とした教材づくりと、世界・日本農業遺産であるワサビ田における生物調査を継続する。	六条大麦から麦わらストローを作製するいきもの教材を完成させた。生物調査はコロナ禍により中止だった。	いきもの教材の作製と、それら教材を活用した教育関連施設でのワークショップを年間10回以上開催する。
	穀類「六条大麦」の収穫量3Kgを目指すとともに、麦わらストローの作製と自家製麦茶づくりに挑戦する。	穀類「六条大麦」を14kg程度、収穫することができた。麦わらストローと煮出し用麦茶の製品化を成功させた。	穀類「六条大麦」の収穫量20Kgを目指すとともに、質の良い麦わらストローの作製と煮出し用麦茶を製品化する。
	麦ストローを題材とした教材づくりと、それを取り入れたワークショップを3回以上実践する。	SHIZUOKA STRAW PROJECTをプロデュースし、海洋プラスチックごみ防止に関するSDGs Action!を実践できた。	SHIZUOKA STRAW PROJECTの普及を目指し、海洋プラスチックごみ防止に関するSDGs Action!を実践する。
	陸のエコシステムを題材とした教材づくりと、それを取り入れたワークショップを3回以上実践する。	市内の動物園を会場として、園が取り組む糞尿処理のシステムを題材としたイベントを実施することができた。	陸のエコシステムを題材とした教材づくりと、それを取り入れたワークショップを3回以上実践する。
	連携パートナーとのパートナーシップの一層強化と同時に、新たなパートナーの開拓を目指す。	多くの団体・企業と連携をすることができ、パートナーシップを強化することができた。	連携パートナーとのパートナーシップの一層強化と同時に、新たなパートナーの開拓を目指す。

（記載上の注意）

- 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

1	事業所・団体等又は関連事業者等の名称	農育プロダクション「いきものがかり」by静岡県立静岡農業高等学校	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業種	11. 教育、学習支援業	
3	従業員（構成員）数	22人	
4	代表者 職・氏名	職名	校長
		氏名	松下 勝也
5	所在地	〒420-0812	
		静岡市葵区古庄三丁目1-1	
6	ホームページURL	www.edu.pref.shizuoka.jp/shizuoka-ah/home.nsf	